

みのはな

千葉大学医学部同窓会報 第52号

編輯兼発行者

千葉大学医学部

るのはな同窓会報編集部

千葉市亥鼻 1の8の1

千葉大学医学部記念講堂内

◆ 総工費八十億 ◆

新 病 院 建 設

は
じ
ま
る

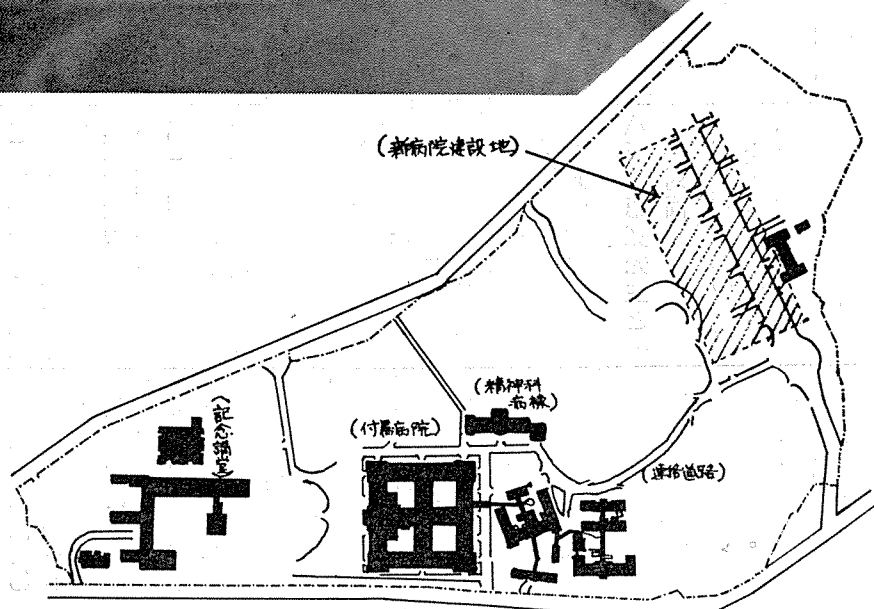
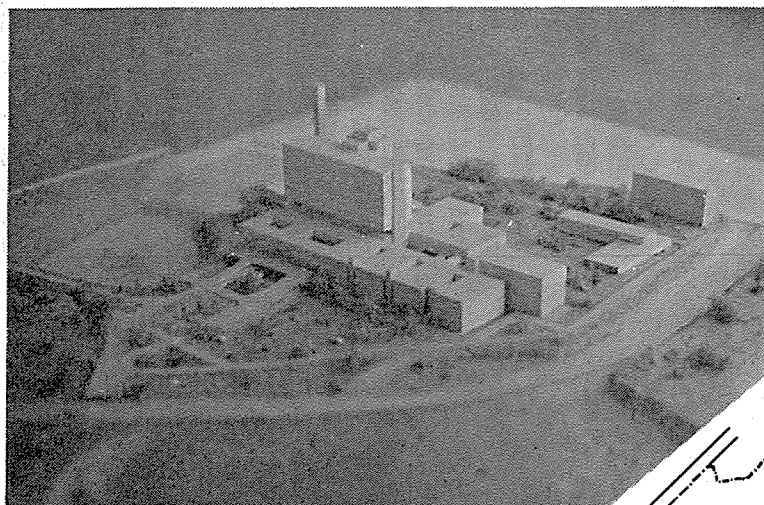
去る三月二十日、起工式も済んで、待望久しかった新病院の建設も漸く軌道にのつた。総工費八十億、施工は大林組と決定。建設地は旧本館（時計台のある建物）ならびに旧図書館書庫を南端として、東側は文線技師学校（旧法医学教

室）玄関を境とする南北にのびる六万坪である。初年度予算は八億で、現在基礎工事のための仮施工事が行なわれており、道路、板

囲い等が建設されている。

假設工事が進むにつれて、その昔基礎医学教室のあったところは日増に交線を遂げ、今や全くの工事現場である。春は桜に酔い、初夏には新緑の芽生えを愛でたこの環境も土埃と車で一杯である。写真(左上)は完成後の新病院全景である。左図の斜線区域は新病院建設地である。写真(右下)は完成後の新病院を正面左側から眺めたものである。かつて亭上とのびていた、樺、銀杏などの並木の二部は基礎本館の前庭に移植され、たがいには新緑を競っている。

今後、旧本館ならびに本館講堂、大学会館、X線技師学校(旧法医学教室)はとり壊す予定となっており、凡秋谷の名で親しまれてきた南側通門に通ずる傾斜地も一部残土処理のため埋めたてであることになっている。



昭和四十八年度

ものはな同窓会総会案内

今年度のものは同窓会総会ならびに役員会は本学創立一〇〇周年（昭和五十年）を迎える準備として、東京都内で開催致します。総会の東京開催はかねてからの各支部からの要望でもありますので、この機会に是非ご出席下さいますようお願い致します。

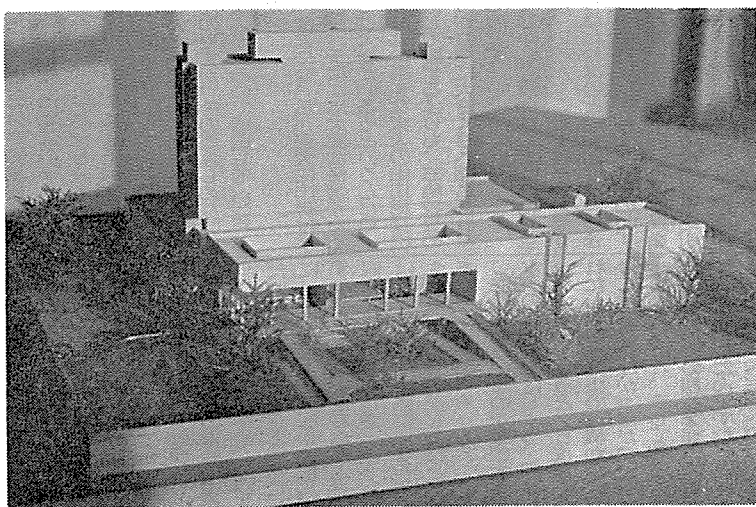
日時 昭和四十八年七月七日(土)午後四時

場所 銀座東急ホテル（地下鉄日比谷線・東銀座下車）

議題 ①、昭和四十七年度決算・昭和四十八年度予算

②、その他

懇親会 総会終了後行ないます。会費四〇〇円は当日会場
受付でいただきます。



学術会議報告

北村 武

質問をうけることもあるので、前もって連絡することを願っておく。

十月二十四から二十七日まで六二

七月二七、八、九日の三日間岐阜市で岐阜大学館医学部長の世話で七部会が開かれた。二七日は部内的小委員会に当てられた。四月結成以来の初会合で、新会員が多いので従来のやり方の説明と今後の活動の予定が立てられた。その一として十月三十一日六二回総会を控えて、学会・協会(学協会)との懇談会が開かれた。高原部長が学協会の成立・活動、今後のあり方、科学研究費の配分等について説明した。その後増田医療問題担当委員長の医療問題の取り扱いについて説明があり、質疑応答が行なわれた。本学会にも出席をお願いしたが、教授会と重なって教授の出席はな、他の層からも出席がな残念であった。

前後するが八月二五日毎日賞と平成医学奨励金の配分の会が開かれた。毎日賞に本学会出身の奥田教授の「腎臓レギーの発生機構」の研究が採れた。内容のよきことは第一の条件であるが、その内容を充分に知っているものが、他の会員を納得させる説明をすることも必要なのである。平成奨励金に応募された本学会関係の方もあったが、充分説明することが出来ず、選ばれてしまった。残念なことであり、今後は連絡を願いたい。猶その外にも学術会議で候補者を選考する場合があり、例をあげればフルブライトの資金による留學生の選考であるが、志望者につき

十月二二日には医療と医学教育について七部で議論することになっている。(この原稿は十月十九日締め切り)

国際学術団体に対応する国内の団体として研究連絡委員会(研連)がもうけられている。今後は国内の関連の学術団体との対も重視することとなり、その改組がすすめられている。学術会議のなかでは全ての委員会が同等の権利をもっているというところになって

所で研連は五八あり、七部関係のものは六つ、四部がもっとも多く、その改組に当って五部と真向から対立してしまつて、改組がすすんでいない。富木(腐研所長)と共に七部も有権者にふさわしい数の研連をもちたいものと努力している。

医学教育の問題は転換期に当つて、各方面で議論されている。学増と管理の問題が焦点である。さて大学の問題を議論するときには医学教育は特別である上、他にお

恩師めぐり ①
松村泰先生を
囲んで

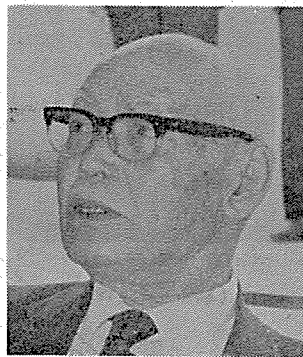
聞き手 片倉 逸

伊藤健次郎

村山 智

鍋谷 欣市

昭和四十七年十一月十五日



K 松村先生からお話をうかがうことになる、どうしても古い昔にさかのぼることになりますね。

先生は来年寿を迎えられるので、この機会に是非、千葉大学の昔のことを聞いて残しておきたいものです。とくに、先生が千葉にいられた頃の三輪徳寛先生のお話などを。

松村 片倉君は、三輪先生を知っているんですか。

K いいえ全然存じません。大学へ入ったときはもうおられませんでした。

松村 三輪先生を知っているんですか。

K はい、三輪先生を知っているんです。大正八年の春、私は初めて当時の千葉医学専門学校の三輪校長に会いに来たのです。木造の粗末な病院でしたが、病院の入口に来ると、丸髷の老人——当時はそう見えたんです——が出て来たので、「三輪校長に会いたいんです」といって、「あ、そうですか。どうぞこちらへ」といっていきま

△三輪徳寛先生との
初対面▽

松村 先生は、本当のアロペチ・ア・トリスでしてね。まあ、二、三本位の毛はあつたかも知れませんが、それで、床屋を呼ぶんです。どこを調整するために呼ぶのか知れないんですが、人間というものは、どう見ても多少おしやれをしないと気が持たない、と。それで、人目に立つてく

松村 先生は、本当のアロペチ・ア・トリスでしてね。まあ、二、三本位の毛はあつたかも知れませんが、それで、床屋を呼ぶんです。どこを調整するために呼ぶのか知れないんですが、人間というものは、どう見ても多少おしやれをしないと気が持たない、と。それで、人目に立つてく

松村 先生は、本当のアロペチ・ア・トリスでしてね。まあ、二、三本位の毛はあつたかも知れませんが、それで、床屋を呼ぶんです。どこを調整するために呼ぶのか知れないんですが、人間というものは、どう見ても多少おしやれをしないと気が持たない、と。それで、人目に立つてく

といふんですね。「いや、いいです。」「と僕がいうとね、「私のこれは(丸髷)ね、伝染性のものではない。神経性のものだ。」といふんですね。それで、私は急いで立って、外巻、帽子をそこへ掛けました。

N 三輪先生の 百年祭をやったのが、数年前か、大分前になりますから、松村先生とは十度、千才位逢つてい

松村 そうですね。その位かと思ひます。

△志は天下に在り▽

松村 私が千葉へ来た当時はいろいろとごたごたがありました。三輪先生にお会いする回数が増えるにつれて、アロペチでし

松村 私が千葉へ来た当時はいろいろとごたごたがありました。三輪先生にお会いする回数が増えるにつれて、アロペチでし

松村 私が千葉へ来た当時はいろいろとごたごたがありました。三輪先生にお会いする回数が増えるにつれて、アロペチでし

松村 私が千葉へ来た当時はいろいろとごたごたがありました。三輪先生にお会いする回数が増えるにつれて、アロペチでし

松村 私が千葉へ来た当時はいろいろとごたごたがありました。三輪先生にお会いする回数が増えるにつれて、アロペチでし

△学問と大学の自治▽

松村 三輪先生は学長になられる以前、第一外科の教授であつたんです。当時、千葉医専時代に、よく出来る生徒はいいたが、医専には学位論文の審査権がなかった。

大学令では第一条に、大学は學術の進歩を研究するところである。兼ねて応用実行に移せるような工夫をする。それに対して大学の自治が許されていた。ですから教授は手に負えん存在でしたよ。その手に負えんところが、今も残っている面があるがね。

ところが、専門学校は世の中に直接役に立つことを教えるところだということで、研究費をくれなかった。そこが大学と一番違うところですね。

したがって、大学になって高等学校を卒業した諸君が、数学や物理を習うてきますね。西洋の学問は、免許とか極意とかいった秘密がないので、書物を読めば何でも大体解るんですね。教授も、そういった書物を読んで受諾するんだから、誤訳もすいぶんあるんです。学生諸君も、高等学校で本を読む語学の力はつけてきているんだから、直接その本を読むとうちもおかしと批判出来る。

そのようにして大学の自治というものは、理想に近い動きをやつてきたんだ。自由というものは一種の自主の理想でしょう。したがって、医学部を高揚するために、若し諸君が刻苦勉勵して高い知識を開発する。すなわち、各人が學術の進歩を研究するよう努力しなければいけません。

三輪先生は、初代の学長として、そういう点を指導原理として持っておられたように思っています。そして、反面実行のないものに対しては、カントのいう厳正批判をするという態度を持っておられたようなんです。

△佐々藤平先生の忠告▽

松村 僕が東京大学からきたときは、丁度三千才そこそこでした。だが、間もなく血清毒のことで大論争し、千葉が勝つてしまいました。その頃は、恩師の緒方先生がすでに亡くなられていたが、僕は後任の横田先生に、「千葉をもう諦めたいと思います。」という、先生は、「そりや、君が諦めたのなら帰らなさい。いくらでも欲しいがっている大学があるから。」と異存はなかったんだ。

そこへ、佐々藤平先生「佐々藤先生のお兄さんですねーがみえられたんです。先生は著作の巨匠の出なんですか、内務省の試験を受けた人です。」

M 医師開業試験というので、松村 そうですね。済生学会という医師の短期養成所を出て、前期が基礎医学、後期が臨床医学で、それをパスすると内務省の衛生局から開業免許を貰うことが出来たんです。

たとえば、野口英世先生も医師開業試験を受けて、水道橋の内科

そんな時代に、佐々藤先生は免許を取ったんだが、どうも医学校に入って勉強しなくなったんですね。ところが中学校も出ていないので、そこでも第一高等学校入資格試験を受けて一高に入りました。入学した途端に、津先生というフランス語の先生がいたのですが、その先生がものすごくほめてね。僕も第二語学でフランス語を三年やったら、佐々藤先生は、一高入学以来どんな試験でも常に一番で、恐らく前にも後にも珍らしい秀才だと思えます。

そこで、卒業するとき、当時一番威張っていた内科の青山胤通先生が、佐々藤先生を非常に欲しがったんです。佐々藤先生は、郷土の佐々藤隆興先生の恩義に報いるために、「東京大学に呼ばれるのは嬉しいが、自分としては否置堂の佐々藤家に恩義があるために行けない。」と断り、今日でもずっと否置堂にいます。

その佐々藤先生が、僕が横田先生に駄々をこねているときにやってきてね、どうも松村君、そのことは承知出来ないね。おおよそ志を立て、千葉大学に行ったときにはそれだけの指導原理を持って行ったんだ。それが、へりから不愉快なことをいわれたと、自分の志をすっかりのけて、横田先生に勝手なことを話したのは賛成出来ない。」といわれたんだ。

このとき、電気のようなものがビーと響いて、私は横田先生に、「今までのことは撤回します。私

はあそこで、どんな苦勞があつても進みます。」と話したんです。それからも、五十年以上になります。

松村 そうですね。したがって人から影響を受けることは非常に大きいんですね。

△学問を継承する▽

松村 そして、僕が千葉に来て三輪先生という大人物にお会いしたのも、何かこの運勢というものが向けられていたようにも思われます。したがって、高橋信義先生とも兄弟のように親しくしていたが、先生も三輪先生の影響を強く受けておられた。

したがって、一外科は今日まで三輪先生の氣風を濃厚に受けているんだ。二外科の瀬尾君もまた佐藤三吉先生の學風を受けているが、同時に三輪先生の影響もかなり受けているように思う。私は千葉大学をよくするということが、自分の世話になった大学をよくするという念願を持つことは、人間として自然の道だと思えます。

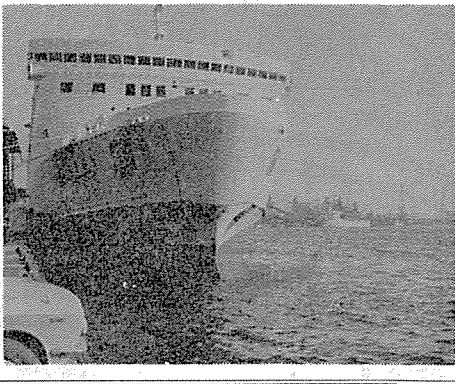
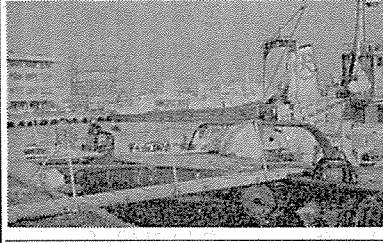
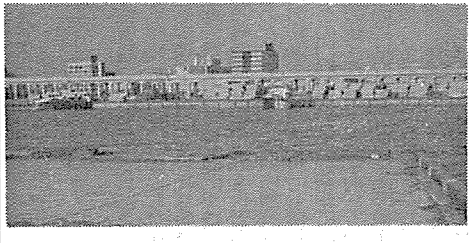
一同 どうも、いろいろ貴重なお話を有難うございました。益々先生の御健康をお祈り申し上げます。

紙面の都合で文章に出来なかつた名言を拾う。

- 若し時代に大学生活をエンジョイすることは実に貴重なことだ。
- 名を求めずに勉強する。
- 形は鯛でも、食べる鯛の味のしない魚がある。
- 長生きのコツは、眠りたいときに眠る、自然主義であらう。

いま・むかし

出州海岸（千葉港）



出州海岸といふのは都川の河口にたながの海岸線、寒川大橋を渡ったすぐのところに白幡神社の鳥居があり、夏はハゼ釣、潮干狩で賑わい、海水浴に人の集まることであつた。一時は橋を組んで花火大会が行なわれたこともあり、それがそ勇壮に海水中に飛びこんだものであつた。……

ところが、今はそのおもかげは全くない。一〇、〇〇〇トン級の外国船の着く港である。写真(右)は千葉一徳島間を航行するオシヤンフェリーである。写真(左上)は近い将来開設される臨港鉄道の高架線を岸壁から遠望したもので、写真(左下)はかつての船溜りになつたタグボートである。遠くには昔ながらのガスタンクが見える。

■健保適用

新合成セファロスポリン

2Y65

国産で初めての
セファロスポリン系抗生物質



セファジン®

筋注用 / 注射用

〈包装〉セファメジン筋注用(無痛性溶解液添付)
0.25g(力価)、0.5g(力価)
セファメジン注射用 0.25g(力価)
0.5g(力価) 1g(力価)

藤沢薬品

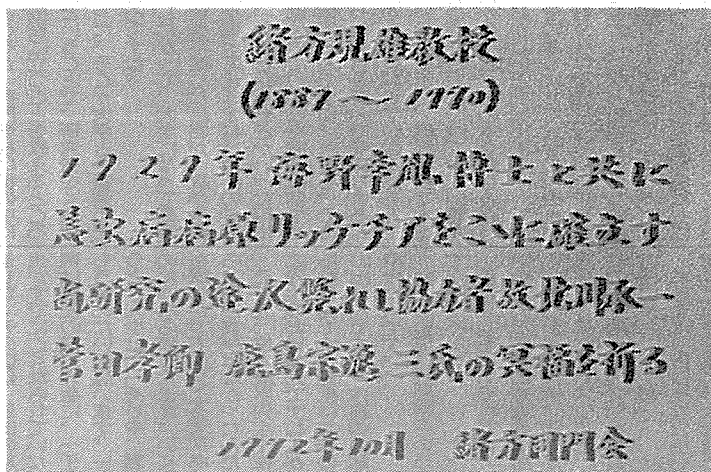
大阪市東区道修町4丁目3
(東京・名古屋・広島・福岡・札幌・仙台)

使用上の注意は製品添付文書参照のこと

故緒方規雄先生の恙虫病 研究記念レリーフについて

緒方同門会 嶋田美夫

本学微生物学教習初代教授緒方規雄先生がライフワークとされた恙虫病病原レリキチアをこの中継する研究の途次際れ協力を致し賜る。菅田孝郎、鹿島宗徳、三氏の笑顔を祈る。1972年10月 緒方同門会



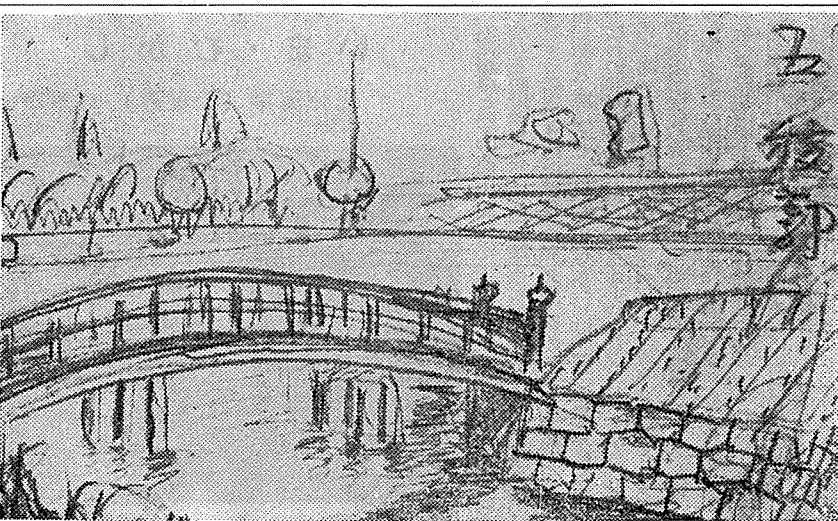
教授室入口の左側の壁面に飾られたレリーフの除幕が行なわれた。一九九二年海野幸胤博士と共に恙虫病病原レリキチアをこの中継する研究の途次際れ協力を致し賜る。菅田孝郎、鹿島宗徳、三氏の笑顔を祈る。1972年10月 緒方同門会

るの は な 同 窓 会 会員名簿（昭和 48年度版）が出来 上りました。

昨年12月上旬に発行の予定であったるの は な 同窓会会員名簿は一月遅れて本年一月に完成致しました。予め予約された会員の方々にはすでに配布済みであります。まだ僅かながら

恙虫病レリキチアの研究は日本病理学会において緒方先生の干葉学派と、当時伝研所長長手文郎教授の伝研派、其他の両で発見と命名のプリオリテートに関する論争が長期に亘り展開され、両派の多くの人々が既に死去された今日、猶未解決のままに残された問題である。緒方先生は其著「日本恙虫病」の巻頭に御両親の写真を飾り其下に「亡き両親に捧ぐ」と献呈の辞を記して居られる。即ち先考緒方正規先生（東大衛生学初代）である。

残部があまりないので、お早目にお申し込み下さい。千葉市内は昨年暮、大市に地番が変更されております。この名簿では可能な限り訂正してあります。



スケッチ ——五稜郭——

五稜郭、こも小雨で塔に登っても眺望が効かない。想像したよりも規模が大きく、又近代戦向き城郭の構築ではあるが堀に架かる橋の欄干は朱塗りで弧状であるのがチクハクで、之が所謂交差期の特長であらう。それにもましてこの円筒の塔の形と全体に前述の焼イカの臭いが満ち満ちているのはうんざり、百年前の函館の戦争のイメージは兎角食感の方に關干である。

観光バスは街の中心に戻りガイド嬢の熱心な説明は有り難いが停車する度にそこはかとなく焼イカの臭が漂ってくるのは仕方ないこと、そんなにこの北海道というところはイカの多いところか。焼イカの臭い参みたる

蝦夷の梅雨
尾本芳次著「北海道香
画歩記より」

●三共が開発したマイナートランキライザー

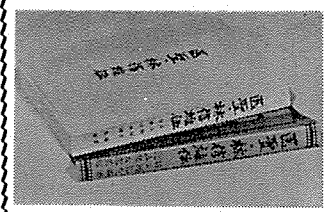
セレナル®
SANKYO 三共

■健保適用品 (要指示医薬品) (副作用、使用上の注意は添付文書をご覧ください)

兒玉勝利

にあつては親子、学園にあつては先生・学生、先輩と後輩、社会にあつては貧富の問題等々と数え上げれば切りがあひません。幸にも私等は以上先輩の外にも多数の誇り得る先輩が健在であつたのも大多数は千葉周辺にお住いのです。老先輩にも當つて多様な前途夢を抱きつゝ現実の重荷に耐えかねて悶々の裡に一夜を明かした苦日があつた筈です。どうかとしく門をたゞいて下さい。問答無用でなく問答は有用です。関係ないではなく、大いに関係あります。(六面(ていへい))

最後に親類の畢生の太者、教行
信証の結語を殊に若き方々に送っ
て遙に千葉大学の弥栄を心に念じ
つつこの筆を擱きます。
教行信証結語（安樂集道緯より）
「す」

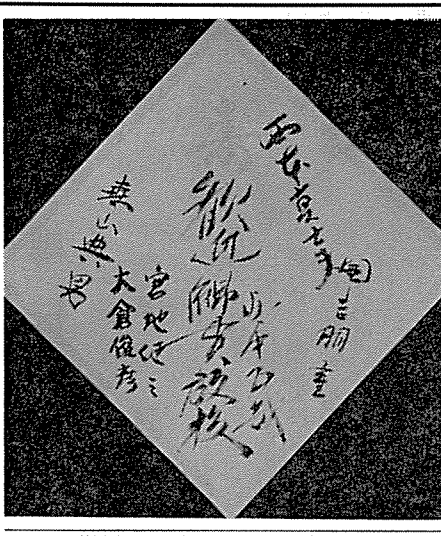


引文
前に生れん者は後を導き後生に
れん者は前を訪らひ連続無窮し
て願わくは休止せざら使めんと欲
す

医聖 林 信雄伝
発行所 東京都目黒区中目黒四
丁目五の二天
羽陽社
定価 五〇〇円
送料 一〇〇円
まとめてお申込みの方は割
引があります。

支部連絡 高知のはな 同窓会

昭和四十七年九月十五日総費教
授が全国医師剣道大会出席のため
来高されたのを機会に、在高知の
同窓会が集り高知のはな同窓
会を開催した。



のはな 市川支部

のはな市川支部では、十年振
りに十月廿五日真蘭の「北館」に
於て、会合を開いた。今回は久し
ぶりのこと故、医師会員のみにし
て、主として開業なさっている先
生方に連絡し、総員三千三名中、
廿六名の出席をみた。

り、政治問題（藤原、越田先生）
台湾問題（呉先生）等々に花が咲
いた。

会長は森先生、幹事に古川、越
田、堀田が選出され、年一回の金
会を約して会を開いた。

出席者（一）内は卒業年度
越田（大9）森（昭3）藤原（昭
4）高橋（昭13）菊地（昭14）青
木（昭15）呉（昭16）阿部（昭16
）熊谷（昭17）山脇（昭18）岡井
（昭21）岳（昭21）渡辺（昭21）
吉見（昭23）井上（昭25）大高（昭
25）森（昭25）大倉（昭26）本間
（昭26）塩田（昭27）吉川（昭
27）秋山（昭28）越田（昭29）福
田（昭24）加藤（昭36）辛（昭40）

海外だより

スウェーデン・ウ
プサラより

第一外科 庵原昭一
（昭和三十一年卒）

日本では総選挙も終り、例年の
ような年の暮であわただしい昨今
と存じます。お変わりなく御活躍の
ことと拝察いたします。

本年四月よりウプサラ大学附属
病院に客員研究員として臨床細胞
学と外科学の研究のため滞在して
います。またく間に数カ月の月

日が過ぎ、やっとの頃当地に
なれて来ました。留守中何かと御
迷惑をおかけしているかと存じま
す。お陰さまで家族一同元気に過
しています。

こちらは十一月中旬より暖冬で
五度〇前後で雪景色になっていな
いの、短い昼間と共に万物が薄
暗く、日本人には有難くありません
。夏休みを国民全体が四週間と
るよう法律で決められ、太陽にあ
こられる気持が良くなりまます。
クリスマスは室内を飾り、街の
主要道路や広場をソリーと豆電球
などで明るくして、落ち着いてい
ます。キリスト教の知識がないの

で小生には理解出来ないところが
多いですが、日本のクリスマスと
大分違つてに感じました。もう
そくを立て、歌の合唱が好きな國
民です。皆様お揃いでよい新年を
お迎え下さい。

昭和四十七年十二月九日
Shoichi Ihana
Sjageliusgatan 7 NB
754 21 Uppsala, Sweden

伊藤忠雄 竹内幸明の両氏はこ
の三月末日をもって四十有余年に
わたる官職を退官された。伊藤忠
雄氏はのはな同窓会の特別会員
であり、また竹内幸明氏は同窓会
の事務を担当されて共に本学一筋
に勤務された方々であるが、同窓
会にとっては俗に言う「生き辞引
き」のような方であった。八十五
周年記念事業の募金事務をはじめ
として、毎年の総会ではもとより各
支部との連絡を一手にひきうけら
れていたで会員には馴染みの多
い事務員であった。今後も健康で
余生を完つされるよう望みたい。

母校に遠く、会員は十二名の過
疎地域で、また現職の教授をお迎
えしたのは四、五年前の北村武教
授以来、久しぶりであった。

当夜は高知市一帯は曇水と山崩
れでかなりの被害を出した集中豪
雨が降りしきり、会場に集るのも
なかなか大変で、水に阻まれ出席
出来ない先生もあり、幸じて集
った同窓は六名で人数は少なかつ

たが、土佐名物の皿鉢料理を囲ん
で打解けた一夜を過ごした。

総費教授の例の独特な話し方は
相変わらず懐しく、大学の近況、
特に新病院の建設のことや、教職
医局の運営等についていろいろ
伺った。また学生問題や大学のあ
り方については安中正哉先生（解
剖学教室・長崎大学教授、現高知
女子大学長）も一言あって二次会
に至るも話は尽きなかった。地方
にいるわれわれにとっては、久し
ぶりに明るい母校の雰囲気と接し
得た思いの一夜だった。当日の出
席者は総費教授のほか、安中正哉
（昭5）、西本真二（昭20）、
宮地健三（昭26）、田吉明（日
医大第二病棟）大倉俊彦（熊大、
寄生虫）、森山典男（昭26）の六
名であった。なお総費教授は剣道
大会で東軍の副将として出場、氣
鋭の一勝を挙げられたことを報告
しておへ。

スケート部に 初の優勝トロフィー

去る一月十日、富士の裾野の富
士急ハイランドで行なわれた、第
十五回東医体冬季大会の、スピー
ドスケート部門で、本学スケート
部の二名が上位入賞した。

同部は昭和四十四年に創立、四
十五年一月の冬季大会から参加し

おおり、これまでリレーで入賞一
回、個人で入賞一回の成績をあげ
ているが、今回のように二名が上
位入賞、しかも一名は優勝という
例ははじめてである。すなわち女
子五百メートルで久我悦子（学一）
写真中央左が優勝、男子五百メ
ートルで参考レースで土屋聖二（同
写真右端）が第三位に入賞した。

これは同部の創立以来、部を支
えてきた重責のベテラン達が、
すでに卒業し、あるいは目下卒業
試験で参加できないことに奮起
し、学一を中心として陸トレに、
合宿に努力を重ねてきた若い力の
たまものであると思われる。

しかなく、来季に向かって新たな
熱意を燃やしているとのことだ
であり、期待される。

関秀一（学三・キャプテン）、
大須央夫（学一・マネジャー）、
小沢俊行（同）、土屋聖二（同）
久我悦子（同）、松岡明（医進
二）、榎健年清（同）、升田吉雄
（同）、村木純子（同）。



同窓会

昭和二十七年卒

るのな二七会

二十周年を記念して

昭和四十七年八月十日、千葉
グランドホテルにおいて、昭和
十七年度卒業の同窓会が、卒業
十周年を記念して盛大に開かれた
出席者は三十八名、卒業六十五
の過半数である。

金員それぞれの持ち時間三分
有効に使っての近況報告、な
にこの二十年間で最も印象に
残っていることについてのス
チを行なった。



やはりそろそろ自分の健康に自
身のなっている年令であり、
同時に医師会関係を含めて種々の
役職に、大いに活躍の期待されて
いる年令であることが話題とな
る。學業の人生が気になる者もあ
り、また生活のマンネリから脱
し、また相同に余暇を作り、それ
を有効に過ごすかについてもいつ
の意見が述べられた。

ともあれ、久しぶりに顔を合わ
せた同窓生、大いに談笑のうち、
同窓会を「るのな二七会」と命
名し、また卒業二十周年記念誌「
ふたむかし」を発行することに決
定して散会した。

なお、翌日は、総武カントリー
と同好の士によるゴルフコンペが
行なわれた。(大浜・有馬記)

第十五回

東医体夏季大会に

総合優勝す

東邦大学医学部主催による第十
五回東日本医科学生総合体育大会
夏季大会は、去る七月十九日の開
会式をもって開始された。わが千
葉大学医学部も十八種目、二八九
人という大選手団を送り、十日間
にわたる熱戦の結果、バスケット
、硬式テニス男子の優勝、サッカ
ー、軟式テニス女子の準優勝、卓
球男子、水泳男子の四位をはじめ
各種目において個々の実力を充分
に発揮し、五年ぶりに六度目の総
合優勝を飾った。十五回を数える
この大会において第八回大会を除
く五、六、七、九、十回と五回の
連続優勝に匹敵する今回の第十五回
大会優勝を飾ったことは、当時の

黄金時代の活躍を彷彿とさせるも
のがあり、当時を懐かしく思い出
される各部先輩もいることと思
います。現役の運動部部長として
昨年第十四回の準優勝、今年の
総合優勝と「黄金時代再来か？」
の感じがしないではありません。
大会は駒沢のオリンピック公園
を主会場として十九日の剣道に始
まり、二十九日の硬式テニス終
までの約十日間、炎天下の下での熱
戦となった。わが千葉大学医学部
各クラブは強豪を相手に善戦し、
まず昨年度優勝のサッカー部が、
東邦大、日大、群馬大を敗り、決
勝では東大と顔を合わせた。一対
一のまま両者互に譲らぬ攻防のう
ちに時間切れ。PK合戦の結果惜
しくも敗れて準優勝。二年連続優
勝の夢は絶たれた。バスケット部
は、昨年は強力な布陣を要しなが
ら準優勝に甘んじたものの、今年
は全く危げなく、日大、横浜市大
、信大、北大、札幌大戦で快勝し、
見事初優勝を遂げた。軟式テニス
部の女子は、予選リーグ、準決勝
リーグとも一位で勝ち進み、決勝
では強豪東京女子医大と対戦した
が惜しくも敗れて準優勝。まこと
に残念であったが、女子部門では
唯一の入賞となり総合得点争いに
大いに貢献した。降雨のため一日
繰り下げて二十五日から始まった
硬式テニスでは、男子がよく健闘
し、新潟大、慶大、日大、順天大
戦に進み、念願の決勝戦に進出。相
手は慈恵医大である。この時点
（二十八日現在）では硬式テニスの
決勝戦を除いて全種目が終了し、

総合得点争いでは、一位の慈恵医
大に〇・五ポイント迫る二位であ
った。慈恵医大に勝てば逆転優勝で
ある。一球一球熱のこもる好試
合、双方躍らぬ応援合戦、学四木
村、姥名等の活躍により五対四と
きわどいところで優勝。この瞬間
激しい総合優勝争いも、わが千葉
大の逆転優勝となりヒリオリドが打
たれた。

ところで医学生間の親睦、融
和、スポーツの奨励を目的として
始められたこの大会も回を重ねる
毎に大規模なものとなり出場者は
六千人に及び参加大会も二十七を
数えるものとなった。本来の目的
からすると一つの発展と考えるこ
とができるが、運営上の大きな問
題、例えば予算増大による主管校
の負担や運営する学生の肉体的負
担の増加など幾多の問題が山積さ
れていることを考えると、ただ単
に喜んではいられない。現在理事
会、評議委員会では一つの解決策
として、連盟費の値上げ、複数主
管、ブロック制、競技別完全独立
採算制などが考えられているが、
このような「東医体の曲り角」に
際して、より一層の発展を望むな
ら、参加選手一人一人の自覚のも
とに、「東医体とは何か」を改め
て考えてみる時期に来ているので
はないだろうか。

(東医体評議員)

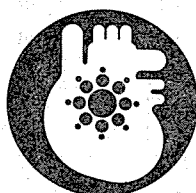


Drug Rehabilitation

薬価基準収載

●薬価

錠：8mg 1錠 16.20
注：0.2% 1管 75.00



冠循環・心機能改善剤

イルダメン 錠・注

(塩酸オキシフェドリン)

中外製薬株式会社

東京都中央区京橋2-2



一 同伴級会のすすめ

三二一会

(昭和六年卒業)

同級会旅行

三二会とは一九三二年に卒業した、大学の五回生の会です。私達の会は終戦後連綿として同級会を続けています。各地の同級生の御世話で、京都、岐阜、浅田温泉、湯ヶ島、箱根、鴨川、山中湖、千葉、東京は勿論の事、約十年前からは亡くなった、多田幸三夫君の主催で夫婦同伴という事になり、これも約十年続いています。



初めは、夫婦同伴という事に若干抵抗のあった方もありましたが、やがて見るとなかなかよきものであることが半々理解されて来た。一通り飲み食いした後、男は男の部屋に集まり、三時開話、三二会とは一九三二年に卒業した、大学の五回生の会です。私達の会は終戦後連綿として同級会を続けています。各地の同級生の御世話で、京都、岐阜、浅田温泉、湯ヶ島、箱根、鴨川、山中湖、千葉、東京は勿論の事、約十年前からは亡くなった、多田幸三夫君の主催で夫婦同伴という事になり、これも約十年続いています。

田崎三、池田英雄、門脇孝治、長内健三、玉岡誠、百瀬孝男、清水英政、高村勝、堀一男、岡井来、シシクル、佐藤保雄、大塚三雄、大野俊雄、近藤泰男、戸崎義雄、森数男、後藤三三、夫人、以上三十一名、なかなか盛會でした。

同級生などといつても縁固は浅いものだが、奥さんづななれといふ古い縁が実証出来てなかなか面白。あと幾年か経て後は御婦人の方の集會となるかもしれない。ともあれ楽しい会です。

飛行機で北海道はなかなか御勝いは多いが、結局は、百瀬君の御世話で黒川ダムから立山に登るスケジュールとなる予定です。

今年四十七年は、奈良公園内の月日亭で宴會をした。そして、シーズン中で宿舎に御世話された翼君(一外出)もなかなか頭をなやまし一部は奈良ホテルに宿舎を御同伴の級會を御開きなさい。人翌日は、室生寺(女人高野)から飛鳥めぐりとなかなか充実した一日を過ぎ、橿原神宮で解散した。参加された方々敬称略、同伴、鈴木孝輔、三輪清三、池すぞ。宴會多謝。(岡井来)

海外技術協力事業団(OTCA) 数カ所からの要請にもついても今年一月二〇日から約四週間にわたりブラジルに基礎調査団を派遣したが、白壁彦夫順天堂大学教授(本学昭和二十年卒)はその団長として詳しく現地を調査された。

団長に白壁教授(昭和20卒)

OTCA派遣ブラジル調査団

OTCAは現在ネパール、ナイジェリア、ブラジルなどに基礎調査団を送り、主として医療の面で技術協力と指導しようとしているが、今回の調査団はブラジルの教授が選ばれたのは、まことに当ボルトアレグレ市、ベレン市などを得た人選といふべきである。

学内関係人事異動

- ▽9・1 荒川直人(精神・講師) 出向(下総療養所)
- ▽10・16 船橋茂(小児・講師) 昇任(同助教)
- ▽11・1 小形三郎(肺病・講師) 昇任(同助教)
- ▽11・16 井上敏(精神・助手) 昇任(同・講師)
- ▽12・1 中沢淳(二生化・講師) 昇任(同・講師)
- ▽12・16 成田光陽(二内・助教) 昇任(同・助教)
- ▽12・31 鍋谷谷市(二外・助教) 昇任(同・助教)
- ▽13・1 野口照義(千葉市立病院) 昇任(同・助教)
- ▽13・16 菅原宏(皮膚・講師) 昇任(同・助教)
- ▽14・1 長尾孝一(二病・助教) 昇任(同・助教)
- ▽14・16 土屋恵一(整外・助教) 昇任(同・助教)
- ▽15・1 飯島一彦(麻酔・助手) 昇任(同・助教)
- ▽15・16 菅原宏(皮膚・講師) 昇任(同・助教)
- ▽16・1 成田光陽(二内・助教) 昇任(同・助教)
- ▽16・16 守山洋一(二生化・助教) 昇任(同・助教)
- ▽17・1 岩崎洋治(二外・講師) 昇任(同・助教)
- ▽17・16 浅野尚(耳鼻・助手) 昇任(同・助教)
- ▽18・1 可一(二外・助手) 昇任(同・助教)

計 報

次の会員が逝去されました。謹んで哀悼の意を表し、ご冥福をお祈り致します。

- ◇新島通夫(昭9) 47・11
- ◇浜田美志(昭22) 47・12
- ◇嶋田 博(昭9) 48・5
- ◇松村 基(名誉会員) 48・6・9

なお、本号掲載の松村先生の記事は先生の最後の記事となりました。

あとがき

発行予定が大巾に狂ってしまい各方面に大変ご迷惑をおかけ致しました。全く編集委員長個人の一身上の都合によるもので、ここに深く陳謝致します。今後は可能な限りつづけて発行してまいります。

△昨日からの気象庁は梅雨入りを宣言しました。日本全国どこでも梅雨だぞです。「梅雨」と書くとなんと優雅な感じがしますが実際にはなんともジメジメして鬱陶しいことか。「鬱」という字はみただけでも鬱陶しいかぎり。

印刷所 新柳印刷株式会社
千葉市葛城一八八一
電話 千葉〇四七二四六六一